

## 太湖の軟弱堆積物とその古環境指標

俞 立中<sup>\*1</sup>, 張 工国<sup>\*1</sup>, 許 羽<sup>\*1</sup>, 許 世遠<sup>\*1</sup>, 郑 祥民<sup>\*1</sup>, 遠藤邦彦<sup>\*2</sup>, 田場 穂<sup>\*2</sup>

1993年から1997年のフィールド調査により、太湖の西部には、南北に伸びる巨大な埋没谷が存在するものが見出された。埋没谷から得られた軟弱堆積物のコアの岩石磁気、珪藻群集、放射性炭素年代の結果は、太湖西部における完新世海進を示した。現在の太湖が形成される過程は、海面変化と地盤の沈降とに密接に関連していたことが示唆される。

キーワード：太湖、軟弱堆積物、古環境指標

\*<sup>1</sup>華東師範大学河口海岸堆積国家重点研究所

上海市中山北路200062

State Key Laboratory of Estuary and Coastal Research, East China Normal University,  
Shanghai, 200062, China

\*<sup>2</sup>日本大学文理学部

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

Dept. of Geosystem Sciences, Nihon Univ.,  
Sakurajosui 3-25-40, Setagaya, Tokyo, 156-8550 Japan